

# 地域住民と協働の海岸防災林造成

治山課

日高南部森林管理署



「えりも国有林」は、えりも岬の東側沿岸に細長く延びる海岸林で、面積約421haを有し、日高山脈襟裳国定公園、飛砂防備保安林、保健保安林、魚つき保安林に指定されています。かつて荒廃した、えりも岬を、長い歳月をかけて再生・復興した、今日までの取組みを紹介します。

## 森林再生のはじまり

今から約三百年前、えりも岬では、アイヌの人々が



昭和20年代のえりも岬

海藻類や魚介の採取により暮らしていたと伝えられています。

当時の「えりも岬」は、カシワやミズナラ、ハルニシ等を主体とする広葉樹の森林で覆われ、厳しい気象条件下でも、この森林が人々の生活を守っていました。

しかし、明治時代に開拓民が移住し、燃料としての伐採や牛馬と綿羊の放牧地の開拓が進んだこと、さらには、バッタの大量発生による被害が発生し、えりも岬の大地は、えりも岬特有の強風や冬の土壌凍結にさらされ、雑草さえ生えない荒野となりました。表土が露わになった大地からは、赤土が舞い上がり『えりも砂漠』の様相を呈しました。

この赤土は飛砂となって沖合10kmまで達し、沿岸の海は濁り、魚は寄りつかず、昆布などの海藻類も採れなくなりました。漁業で生計を立てていた、えりもの

人々は生計を失い暮らしも困難になり、森林の再生を望みました。



えりも砂漠の様相（昭和20年代）

## 緑化事業のあゆみ

森林再生を求める声に応え札幌営林局（当時）は、昭和28年に『えりも治山事業所』を開設し、地元住民との協働による本格的なえりも岬緑化事業の第一歩が踏み出されました。

緑化事業は、荒廃した192haの荒野に、まずは、草を根付かせることから始めました。草を根付かせるためには、雨による土砂の流出を止め、風による種や肥料、砂の飛散を防止する必要があります。丸太谷

止や柵による土砂の流出防止のほか、よしずによる被覆などの飛散防止策を実施しましたが、強風により破壊されてしまい、緑化は難航しました。それでも、さまざまな試行錯誤の末、昭和32年頃に、海岸に打ち上げられた雑海藻（ゴタ）で種子と肥料を覆い、飛散を防ぐ『えりも式緑化工法』と呼ばれる画期的な方法が開発されたことにより、緑化が一気に進みました。これにより、昭和45年には草による緑化が完了し、樹木による緑化が本格化しました。

樹木による緑化は、植栽樹種や植栽方法などの試行



雑海藻（ゴタ）を播く

の結果、クロマツを主体に広葉樹のカシワ、アキグミ、イタチハギ等を植栽し、厳しい気象条件の緩和を図る防風垣、防風土塁等により植栽木を保護する方法が採られました。



植栽したクロマツ

これによる海岸林の再生は、今日まで継続的に実施されており、その結果、現在では立派な森林が蘇り、「日本の白砂丘青松100選」にも選定されています。この海岸林は、今はまだ若いクロマツの一斉林が多く、この先五十年、百年を見すえた森林づくりが求められています。えりも岬の海岸林が目指すものは、かつての森林です。現在のク



現在のえりも岬海岸林

ロマツ一斉林を抜き伐りによりギャップを設け、広葉樹が生育できる環境をつくり、かつてのえりも岬の森林にあったカシワやハルニシ等による針広混交林化により、様々な状況に耐える強靱な海岸林へと育てていく必要があります。



目指す針広混交林

### 官民一体となった絆

昭和28年の緑化事業開始以来、地域では節目ごとに運動会や記念行事などを開催し、協働で築きあげてきた成果を振り返り、この森林の将来のあるべき姿について、語り合ってきました。また、緑の恵みに感謝する心と慈しみ育てる心を啓発し、緑豊かな大地「えりも岬」をつくりあげることが目的として、えりも町や漁業協同組合、森林組合、日高南部森林管理署などが昭和58年に「えりも岬を守る会」を設立し、ワクワク森林づくり(植樹祭やイキイキ森林づくり(育樹祭)などの森林再生活動を官民一体で進めています。

平成18年からは、中高一貫教育の取り組みとして、中学1年生が植樹体験を、高校2年生が枝打ち体験を行い、次世代に緑化事業の大切さを伝えてきました。これらの活動の功績が認められ「吉川英治文化賞」「インフラメンテナンス大賞 優秀賞」など数々の賞を受賞しています。



2022 中高一貫教育 (植樹体験)

令和5年には、えりも岬緑化事業70周年記念行事「2023 リン子とルン海の森づくり(植樹祭)」を予定しており、70年かけて蘇らせた緑化に捧げた情熱や成功にいたるまでの苦労などの歴史を風化させることなく、次世代の子供たちに伝え、これからのえりも岬の森林のあり方を共に考え、絆をより一層深めていきたいと考えております。



『お山ん画』でお馴染みの林リン子のエンブレムと70周年記念行事PRポスター